

財務諸表等

令和6年度
(第11期事業年度)

自：令和 6年 4月 1日
至：令和 7年 3月 31日

独立行政法人 地域医療機能推進機構

目 次

I. 貸借対照表	3
II. 行政コスト計算書	5
III. 損益計算書	6
IV. 純資産変動計算書	9
V. キャッシュ・フロー計算書	10
VI. 損失の処理に関する書類	11
VII. 注記事項	12
VIII. 附属明細書	21
1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細	
2. 棚卸資産の明細	
3. 有価証券の明細	
4. 長期貸付金の明細	
5. 引当金の明細	
6. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	
7. 退職給付引当金の明細	
8. 資産除去債務の明細	
9. 資本剰余金の明細	
10. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細	
11. 役員及び職員の給与の明細	
12. 開示すべきセグメント情報	
13. 関連公益法人等の概要及び財務状況等	
14. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	
IX. 添付資料	
(1) 決算報告書	31
(2) 監査報告	35
(3) 会計監査報告	39
(4) 施設別財務書類	(別冊1)

財 務 諸 表

貸借対照表

(令和 7 年 3 月 3 1 日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
資産の部			
I 流動資産			
現金及び預金		157,893,979,927	
有価証券		7,000,000,000	
医業未収金	61,684,725,854		
貸倒引当金 (△)	△ 117,374,628	61,567,351,226	
施設運営事業未収金	2,012,626,679		
貸倒引当金 (△)	△ 324,234	2,012,302,445	
未収金		6,492,542,491	
医薬品		2,524,251,658	
診療材料		1,304,228,598	
給食用材料		99,399,108	
貯蔵品		414,244,155	
前払費用		731,331,604	
未収収益		252,842,607	
その他流動資産		192,512,654	
流動資産合計			240,484,986,473
II 固定資産			
1 有形固定資産			
建物	315,207,366,013		
減価償却累計額	△ 130,501,207,007		
減損損失累計額	△ 7,572,017,915	177,134,141,091	
構築物	4,532,372,862		
減価償却累計額	△ 1,606,502,630		
減損損失累計額	△ 2,722,160	2,923,148,072	
医療用器械備品	99,863,714,301		
減価償却累計額	△ 72,612,936,190		
減損損失累計額	△ 891,043	27,249,887,068	
その他器械備品	28,347,930,912		
減価償却累計額	△ 15,620,829,967		
減損損失累計額	△ 12,825,025	12,714,275,920	
車両	2,528,597,531		
減価償却累計額	△ 2,182,153,989	346,443,542	
放射性同位元素	18,894,070		
減価償却累計額	△ 18,894,069	1	
土地	163,031,455,373		
減損損失累計額	△ 4,042,050,327	158,989,405,046	
建設仮勘定		2,744,626,045	
その他有形固定資産	335,436,740		
減価償却累計額	△ 3,432,150	332,004,590	
有形固定資産合計		382,433,931,375	
2 無形固定資産			
借地権		500,000	
ソフトウェア		12,092,797,480	
電話加入権		3,676,000	
その他無形固定資産		6,592,252	
無形固定資産合計		12,103,565,732	
3 投資その他の資産			
長期貸付金		684,999,389	
破産更生債権等	535,450,345		
貸倒引当金 (△)	△ 535,450,345	-	
長期前払費用		234,245,322	
災害備蓄在庫		64,782,948	
その他投資資産		42,590,102	
投資その他の資産合計		1,026,617,761	
固定資産合計			395,564,114,868
資産合計			636,049,101,341

科 目	金 額		
負債の部			
I 流動負債			
預り補助金等		464,000	
預り寄附金		154,120,600	
買掛金		16,105,850,688	
未払金		28,659,538,783	
一年以内支払リース債務		8,084,890	
預り金		2,776,948,370	
前受金		146,826,448	
未払費用		120,151,932	
前受収益		3,242,775	
引当金			
賞与引当金		10,727,187,824	
一年以内履行資産除去債務		3,381,400	
その他流動負債		166,509,582	
流動負債合計			58,872,307,292
II 固定負債			
資産見返負債			
資産見返補助金等		6,243,806,815	
資産見返寄附金		384,864,085	
資産見返物品受贈額		43,773,774	
退職給付引当金		57,563,618,257	
リース債務		8,076,475	
資産除去債務		17,775,321,777	
固定負債合計			82,019,461,183
負債合計			140,891,768,475
純資産の部			
I 資本金			
政府出資金		85,491,182,587	
資本金合計			85,491,182,587
II 資本剰余金			
資本剰余金		373,737,930,403	
その他行政コスト累計額			
除売却差額相当累計額	3,486,243	3,486,243	
資本剰余金合計			373,741,416,646
III 利益剰余金			
前中期目標期間繰越積立金		47,503,547,202	
当期未処理損失		△ 11,578,813,569	
(うち当期総損失)	(△ 11,578,813,569)	
利益剰余金合計			35,924,733,633
純資産合計			495,157,332,866
負債純資産合計			636,049,101,341

行政コスト計算書

(令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 損益計算書上の費用 診療業務費 介護業務費 教育業務費 一般管理費 その他経常費用 臨時損失 損益計算書上の費用	 391,785,532,136 13,996,042,570 415,592,926 2,086,039,774 955,060,507 9,057,455,559	 418,295,723,472
II その他行政コスト 除売却差額相当額 その他行政コスト合計	 32,000	 32,000
III 行政コスト		418,295,755,472

損益計算書

(令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 3 1 日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
経常収益			
I 診療業務収益			
医業収益			
入院診療収益	247,346,233,136		
室料差額収益	5,296,874,535		
外来診療収益	101,205,576,189		
保健予防活動収益	26,063,503,804		
その他医業収益	1,835,267,259		
保険等査定減(△)	△ 1,396,380,321	380,351,074,602	
研究収益			
研究収益		413,834,097	
補助金等収益			
補助金等収益	1,723,363,599		
資産見返補助金等戻入	1,922,767,587	3,646,131,186	
寄附金収益			
寄附金収益		123,515,442	
資産見返物品受贈額戻入		21,550,906	
その他診療業務収益		3,109,650,631	
診療業務収益合計			387,665,756,864
II 介護業務収益			
介護収益			
介護保健施設介護料収益	8,492,331,350		
在宅サービス介護料収益	1,949,290,538		
介護予防在宅サービス介護料収益	180,771,932		
居宅介護支援介護料収益	518,964,212		
室料差額収益	170,908,992		
利用者等利用料収益	1,889,202,594		
その他介護収益	64,706,687		
介護報酬査定減(△)	△ 53,297	13,266,123,008	
補助金等収益			
補助金等収益	47,769,978		
資産見返補助金等戻入	16,520,593	64,290,571	
寄附金収益			
寄附金収益		3,166,916	
その他介護業務収益		501,562,870	
介護業務収益合計			13,835,143,365
III 教育業務収益			
看護師等養成所収益		135,694,810	
研修収益		4,663,680	
補助金等収益			
補助金等収益	21,408,000		
資産見返補助金等戻入	537,992	21,945,992	
その他教育業務収益		98,842,570	
教育業務収益合計			261,147,052
IV その他経常収益			
財務収益			
受取利息		528,356,087	
土地建物等貸付料収入		250,051,027	
宿舍貸付料収入		272,548,282	
補助金等収益			
補助金等収益		4,910,000	
寄附金収益			
寄附金収益		47,393,939	
その他経常収益		473,487,894	
その他経常収益合計			1,576,747,229
経常収益合計			403,338,794,510

科 目	金 額		
経常費用			
I 診療業務費			
給与費			
給料	137,521,572,918		
賞与	20,041,931,972		
賞与引当金繰入額	8,785,234,295		
退職給付費用	8,160,320,598		
法定福利費	21,340,885,242	195,849,945,025	
材料費			
医薬品費	57,910,711,233		
診療材料費	37,466,713,755		
医療消耗器具備品費	1,609,659,112		
給食用材料費	3,569,615,605	100,556,699,705	
委託費			
検査委託費	3,398,674,347		
給食委託費	3,342,952,968		
寝具委託費	763,493,508		
医事委託費	8,002,852,383		
清掃委託費	2,534,680,066		
保守委託費	1,673,475,586		
その他の委託費	11,240,202,867	30,956,331,725	
設備関係費			
減価償却費	24,179,941,946		
資産除去債務履行差額	155,589,891		
修繕費	2,623,727,958		
器機賃借料	6,484,928,227		
地代家賃	471,806,818		
固定資産税等	25,806,100		
器機保守料	8,591,910,593		
器機設備保険料	94,684,868		
車両関係費	178,857,884	42,807,254,285	
研究研修費			
経費			
福利厚生費	427,994,281		
旅費交通費	529,054,495		
通信費	1,240,051,712		
消耗品費	2,718,230,973		
消耗器具備品費	2,240,614,793		
水道光熱費	9,697,595,281		
租税公課	1,777,629,291		
医業貸倒損失	662,433		
貸倒引当金繰入額	55,514,324		
低価法評価損	12,281,425		
その他	2,580,288,815	21,279,917,823	
診療業務費合計			391,785,532,136
II 介護業務費			
給与費			
給料	5,998,892,750		
賞与	1,265,256,720		
賞与引当金繰入額	457,485,372		
退職給付費用	499,595,671		
法定福利費	1,118,979,538	9,340,210,051	
材料費			
医薬品費	178,851,696		
給食用材料費	738,683,237		
介護診療材料費	98,639,948		
利用者等材料費	80,893,552		
介護療養消耗器具備品費	19,171,451	1,116,239,884	
委託費			
検査委託費	9,186,362		
給食委託費	653,403,851		
寝具委託費	75,475,056		
清掃委託費	187,833,228		
保守委託費	103,187,292		
その他の委託費	354,020,495	1,383,106,284	
設備関係費			
減価償却費	738,817,889		
修繕費	101,420,210		
器機賃借料	61,208,254		
地代家賃	12,573,471		
器機保守料	92,646,387		
器機設備保険料	4,267,217		
車両関係費	61,162,276	1,072,095,704	

科 目	金 額		
研究研修費		6,157,693	
経費			
福利厚生費	22,933,324		
旅費交通費	2,853,087		
通信費	40,861,965		
消耗品費	105,310,649		
消耗器具備品費	92,239,709		
水道光熱費	715,090,424		
租税公課	36,677,688		
その他	63,854,251		
貸倒引当金繰入額	△ 1,588,143	1,078,232,954	
介護業務費合計			13,996,042,570
III 教育業務費			
給与費			
給料	139,048,402		
賞与	25,121,455		
賞与引当金繰入額	10,458,974		
退職給付費用	11,718,465		
法定福利費	24,523,195	210,870,491	
経費			
福利厚生費	1,235,530		
臨床実習協力費	1,492,000		
旅費交通費	1,495,148		
通信費	3,065,435		
消耗品費	6,018,984		
消耗器具備品費	1,293,586		
生徒関連諸費	5,870,715		
水道光熱費	19,489,729		
減価償却費	118,871,778		
その他	45,889,530	204,722,435	
教育業務費合計			415,592,926
IV 一般管理費			
給与費			
給料	822,665,433		
役員報酬	86,602,500		
賞与	180,298,719		
賞与引当金繰入額	75,665,148		
退職給付費用	86,608,285		
法定福利費	171,425,454	1,423,265,539	
経費			
福利厚生費	2,313,463		
旅費交通費	52,197,961		
通信費	8,964,904		
消耗品費	15,994,700		
消耗器具備品費	4,740,522		
水道光熱費	17,974,128		
賃借料	1,367,032		
租税公課	2,956,353		
減価償却費	456,352,767		
その他	99,912,405	662,774,235	
一般管理費合計			2,086,039,774
V その他経常費用			
財務費用			
支払手数料	249,211,282	249,211,282	
その他経常費用		705,849,225	
その他経常費用合計			955,060,507
経常費用合計			409,238,267,913
経常損失			△ 5,899,473,403
臨時利益			
固定資産売却益		5,513,644	
その他臨時利益		3,372,601,749	3,378,115,393
臨時損失			
固定資産除却損		1,298,628,180	
固定資産減損損失		392,404,636	
賠償金等負担額		114,532,711	
その他臨時損失		7,251,890,032	9,057,455,559
当期純損失			△ 11,578,813,569
当期総損失			△ 11,578,813,569

純資産変動計算書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

	I 資本金		II 資本剰余金			III 利益剰余金				純資産合計
	政府出資金	資本剰余金	資本剰余金	資本剰余金 合計	前中期目標期間繰 越積立金	積立金	当期末処分利益 又は当期末処理損失	うち当期総利益 又は当期総損失	利益剰余金 合計	
当期首残高	85,491,182,587	366,665,502,489	366,669,020,732			56,548,658,837	2,368,405,857	-	58,917,064,694	511,077,268,013
当期変動額										
I 資本金の当期変動額										
II 資本剰余金の当期変動額										
固定資産の取得		15,500,000		15,500,000						15,500,000
固定資産の除売却				△ 32,000						△ 32,000
前中期目標期間繰越積立金取崩額		7,056,927,914		7,056,927,914						7,056,927,914
III 利益剰余金の当期変動額										
(1) 利益の処分										
前中期目標期間からの繰越し					54,560,475,116	△ 54,560,475,116				-
利益処分による積立						2,368,405,857	△ 2,368,405,857			-
国庫納付金の納付						△ 4,356,589,578			△ 4,356,589,578	
(2) その他										
当期純損失										
当期純損失										
前中期目標期間繰越積立金取崩額					△ 7,056,927,914					
当期変動額合計	85,491,182,587	7,072,427,914	△ 32,000	7,072,395,914	△ 7,056,927,914	△ 56,548,658,837	△ 13,947,219,426	△ 11,578,813,569	△ 22,992,331,061	△ 15,919,935,147
当期首残高	85,491,182,587	373,737,930,403	3,486,243	373,741,416,646	47,503,547,202	-	△ 11,578,813,569	△ 11,578,813,569	35,924,733,633	495,157,332,866

キャッシュ・フロー計算書
(令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	378,257,819,668
研究による収入	429,112,499
補助金等収入	2,688,003,021
補助金等の精算による返還金の支出	△413,138,757
寄附金収入	147,581,292
その他の収入	3,579,282,110
人件費支出	△192,027,127,760
材料の購入による支出	△101,086,040,382
その他の業務支出	△70,575,680,575
小計	<u>20,999,811,116</u>
介護業務活動によるキャッシュ・フロー	
介護収入	13,297,404,439
補助金等収入	58,603,629
補助金等の精算による返還金の支出	△6,050
寄附金収入	2,120,000
その他の収入	502,456,342
人件費支出	△9,004,843,973
材料の購入による支出	△1,123,535,717
その他の業務支出	△2,833,133,003
小計	<u>899,065,667</u>
教育業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	135,694,810
補助金等収入	19,951,192
その他の収入	5,284,650
人件費支出	△200,547,339
その他の業務支出	△62,998,239
小計	<u>△102,614,926</u>
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
補助金等収入	4,336,000
その他の収入	4,582,824,169
人件費支出	△1,332,364,808
その他の業務支出	△2,662,994,922
小計	<u>591,800,439</u>
利息の受取額	528,356,087
国庫納付金の支払額	△4,356,589,578
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>18,559,828,805</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	181,360,000,000
定期預金の預入による支出	△186,860,000,000
有価証券の償還による収入	107,500,000,000
有価証券の取得による支出	△71,000,000,000
有形固定資産の売却による収入	5,513,644
有形固定資産の取得による支出	△43,071,615,851
無形固定資産の取得による支出	△5,190,219,069
資産除去債務の履行による支出	△270,668,928
貸付金の回収による収入	42,218,469
貸付けによる支出	△195,876,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△17,680,647,985</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△10,548,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△10,548,396</u>
IV 資金増加額	868,632,424
V 資金期首残高	51,525,347,503
VI 資金期末残高	<u><u>52,393,979,927</u></u>

損失の処理に関する書類
(令和 7 年 6 月 30 日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 当期末処理損失 当期総損失	△ 11,578,813,569	△ 11,578,813,569
II 次期繰越欠損金		△ 11,578,813,569

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

1. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	2 ～ 60年
構築物	2 ～ 60年
医療用器械備品	2 ～ 10年
その他器械備品	2 ～ 20年
車両	2 ～ 7年
放射性同位元素	2 ～ 5年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内で利用するソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（3～7年）に基づいております。

2. 退職給付に係る引当金の計上基準及び退職給付費用の処理方法

役職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務の見込額を計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

過去勤務費用は、その発生事業年度に一括費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

3. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

4. 賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俸及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

5. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券については、償却原価法（定額法）によっております。

6. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

(2) 診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(3) 給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(4) 貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

7. 収益及び費用の計上基準

医業収益は、主に入院及び外来診療であり、診療行為を提供する履行義務を負っています。診療行為は継続的に役務を提供しており履行義務は一定の期間にわたり充足されると判断し、診療行為の提供に応じて収益を認識しております。

8. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

9. 固定資産の減損の処理方法

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第6号 最終改正 平成21年3月27日改正）を適用しております。

II. 貸借対照表

その他行政コスト累計額のうち、出資を財源に取得した
資産に係る金額

659,136円

III. 行政コスト計算書

1. 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

① 行政コスト

418,295,755,472円

② 自己収入等

△402,958,081,248円

③ 機会費用	2,612,978,432円
独立行政法人の業務運営に関して	
国民の負担に帰せられるコスト	17,950,652,656円

2. 機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等から生ずる機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の令和7年3月末利回りを参考に1.485%で計算しております。

IV. 損益計算書

1. 国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

① 保健予防活動収益	15,030,588円
② その他診療業務収益	267,413,573円
③ 居宅介護支援介護料収益	13,452,836円
④ その他介護収益	10,933,083円
⑤ その他介護業務収益	417,748,848円
⑥ その他経常収益	2,514,352円
合 計	727,093,280円

2. 受取利息の内訳

① 受取利息	386,488,344円
② 有価証券利息	141,867,743円
合 計	528,356,087円

3. 固定資産売却益の内訳

① 医療用器械備品	3,854,997円
② 車両	1,658,647円
合 計	5,513,644円

4. 固定資産減損損失

(1) 減損損失の金額及び内訳

(単位：円)

用途	場所	減 損 損 失		
		建 物	その他	計
遊休資産 (宿舎)	北海道登別市登別東町 4丁目26番地1	18,663,947	-	18,663,947
遊休資産 (老健)	山口県下関市上新地町 3丁目4番36号	343,769,912	2,409,565	346,179,477
遊休資産 (建物)	山口県周南市孝田町1 番1号	27,561,212	-	27,561,212
合 計		389,995,071	2,409,565	392,404,636

(2) 減損損失の認識に至った経緯

遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため、減損損失を認識しております。

(3) 資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって地域医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。

ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定を行った資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、正味売却価額によって測定しております。正味売却価額については、不動産鑑定評価額などにに基づき算定しております。

5. その他臨時利益の内訳

① 医薬品談合の賠償金等の

受入 3,165,437,370円

② その他 207,164,379円

合 計 3,372,601,749円

6. その他臨時損失の内訳	
① 過年度受領補助金等の 返還額	164,481,081円
② 退職給付引当金の過年 度不足額	6,871,352,686円
③ その他	216,056,265円
合計	<u>7,251,890,032円</u>

V. キャッシュ・フロー計算書

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	157,893,979,927円
現金及び預金勘定のうち定期預金	105,500,000,000円
資金期末残高	<u>52,393,979,927円</u>

2. 重要な非資金取引

該当事項はありません。

VI. 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当機構の資金運用については、公債、預金及び金銭信託に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。また、有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、譲渡性預金を保有することとし、株式等は保有していません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

現金は注記を省略しており、預金、有価証券、医業未収金、未収金、買掛金及び未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

VII. 退職給付引当金

1. 採用している退職給付制度の概要

当機構は役職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度を設けております。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

区 分	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日
期首における退職給付債務(A)	53,200,627,794円
勤務費用(B)	7,492,186,142円
利息費用(C)	59,776,321円
数理計算上の差異の当期発生額(D)	△6,354,034,181円
退職給付の支払額(E)	3,936,686,886円
過去勤務費用の当期発生額(F)	0円
その他(G)	6,384,075,335円
期末における退職給付債務(H) = (A)+(B)+(C)+(D)-(E)+(F)+(G)	56,845,944,525円

(注) その他(G)は、退職給付債務の過年度認識不足額6,384,075,335円であります。

3. 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

区 分	令和7年3月31日現在
退職給付債務(A)	56,845,944,525円
未認識数理計算上の差異(B)	717,673,732円
退職給付引当金(C) = (A)+(B)	57,563,618,257円

4. 退職給付に関する損益

区 分	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日
勤務費用(A)	7,492,186,142円
利息費用(B)	59,776,321円
数理計算上の差異の当期の費用処理額(C)	1,189,934,774円
その他(D)	6,871,352,686円
合計(E) = (A)+(B)+(C)+(D)	15,613,249,923円

(注1) その他(D)は、退職給付債務の過年度認識不足額6,384,075,335円及びそれに伴う数理計算上の差異の償却額の不足額487,277,351円を合計した退職給付引当金の過年度不足額6,871,352,686円であります。

(注2) 上記退職給付費用以外に他の機関からの出向者等にかかる退職給付費用の負担分として、16,345,782円を計上しております。

5. 数理計算上の計算基礎に関する事項

区 分	令和7年3月31日現在
割引率	1.5%

(注) 当事業年度の期首時点において適用した割引率は0.1%でありましたが、期末時点において割引率の再検討を行った結果、退職給付債務の額に重要な影響を及ぼすと判断し、割引率を主として1.5%に変更しております。

VIII. 資産除去債務関係

1. 資産除去債務の概要

当機構は労働安全衛生法等の規定により生ずる債務として、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用、照明装置の廃棄時におけるポリ塩化ビフェニルの除去費用並びに不動産の賃貸借契約等に基づき、賃貸借契約等の終了時に生じる原状回復に係る債務につき資産除去債務を計上しております。

2. 資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数及び賃貸借契約期間等を参考に2年から31年と見積もっております。

割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の利回りを参考に算定しており、0%から1.528%となっております。

3. 当事業年度における資産除去債務の総額の増減

区 分	金 額
期首残高	18,154,101,126円
有形固定資産の取得等に伴う増加	15,375,123円
時の経過による調整額	72,822,020円
資産の除去等による履行額	△463,595,092円
期末残高	17,778,703,177円

IX. 収益認識関係

当法人は、以下に記載する内容を除き、独立行政法人会計基準第86における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

1. 収益の分解情報

当法人の一定の事業等のまとまりごとの区分は、診療事業、介護事業及び教育研修事業であり、基準第86を適用する取引に係る主なサービス等の種類と収益の額は、入院及び外来診療等による医業収益380,351,074,602円であります。

2. 収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3. 当該事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

X. 不要財産に係る国庫納付関係

該当事項はありません。

XI. オペレーティング・リース取引

貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料 70,527,792円

貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料 76,417,605円

XII. 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

XIII. 重要な後発事象

該当事項はありません。

XIV. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報

独立行政法人固有の会計処理に伴う科目は、以下のとおりです。

- (1) 預り補助金等
- (2) 預り寄附金
- (3) 資産見返負債
- (4) その他行政コスト累計額
- (5) 前中期目標期間繰越積立金
- (6) 除売却差額相当額
- (7) 補助金等収益
- (8) 寄附金等収益
- (9) 資産見返物品受贈額戻入

財務諸表
(附属明細書)

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 末高	摘要
					当期償却額	減損損失累計額	当期償却額	減損損失累計額		
建物	300,491,029,842	15,109,415,474	399,079,303	315,207,366,013	130,501,207,007	7,572,017,915	389,995,071	177,134,141,091	注1	
構築物	4,314,160,151	285,853,111	67,640,400	4,532,372,862	1,606,502,630	2,722,160	-	2,923,148,072	注2	
医療用器械備品	93,524,410,273	8,975,027,129	2,635,723,101	99,863,714,301	72,612,936,190	891,043	-	27,249,887,068	注3	
その他器械備品	26,436,238,727	2,775,254,795	863,562,610	28,347,930,912	15,620,829,967	2,746,561,841	2,409,565	12,714,275,920	注4	
車両	2,483,489,649	129,964,484	84,856,602	2,528,597,531	2,182,153,989	137,471,095	-	346,443,542		
放射性同位元素	19,682,070	199,000	987,000	18,894,070	18,894,069	-	-	1		
その他有形固定資産	4,272,781	-	-	4,272,781	3,432,150	171,392	-	840,631		
計	427,273,283,493	27,275,713,993	4,045,849,016	450,503,148,470	222,545,956,002	7,588,456,143	392,404,636	220,368,736,325		
土地	151,249,251,912	11,782,203,461	-	163,031,455,373	-	-	-	158,989,405,046	注5	
建設仮勘定	9,672,737,003	6,410,014,365	13,338,125,323	2,744,626,045	-	-	-	2,744,626,045		
その他有形固定資産	315,663,959	15,500,000	-	331,163,959	-	-	-	331,163,959		
計	161,237,652,874	18,207,717,826	13,338,125,323	166,107,245,377	-	-	-	162,065,195,050		
建物	300,491,029,842	15,109,415,474	399,079,303	315,207,366,013	130,501,207,007	7,572,017,915	389,995,071	177,134,141,091	注1	
構築物	4,314,160,151	285,853,111	67,640,400	4,532,372,862	1,606,502,630	2,722,160	-	2,923,148,072	注2	
医療用器械備品	93,524,410,273	8,975,027,129	2,635,723,101	99,863,714,301	72,612,936,190	891,043	-	27,249,887,068	注3	
その他器械備品	26,436,238,727	2,775,254,795	863,562,610	28,347,930,912	15,620,829,967	2,746,561,841	2,409,565	12,714,275,920	注4	
車両	2,483,489,649	129,964,484	84,856,602	2,528,597,531	2,182,153,989	137,471,095	-	346,443,542		
放射性同位元素	19,682,070	199,000	987,000	18,894,070	18,894,069	-	-	1		
計	151,249,251,912	11,782,203,461	-	163,031,455,373	-	-	-	158,989,405,046	注5	
建設仮勘定	9,672,737,003	6,410,014,365	13,338,125,323	2,744,626,045	-	-	-	2,744,626,045	注6	
その他有形固定資産	319,936,740	15,500,000	-	335,436,740	3,432,150	-	-	332,004,590		
計	588,510,936,367	45,483,431,819	17,383,974,339	616,610,393,847	222,545,956,002	11,630,506,470	392,404,636	382,433,931,375		
借地権	500,000	-	-	500,000	-	-	-	500,000		
ソフトウエア	24,551,400,260	3,301,332,261	1,456,477,225	26,396,255,296	14,303,457,816	2,516,786,388	-	12,092,797,480	注7	
電話加入権	3,708,000	-	32,000	3,740,000	-	-	-	3,676,000		
その他無形固定資産	10,761,700	-	-	10,761,700	4,169,448	-	-	6,592,252		
計	24,566,369,960	3,301,332,261	1,456,509,225	26,411,192,996	14,307,627,264	2,516,786,388	-	12,103,565,732		
長期貸付金	745,142,057	194,946,250	255,088,918	684,999,389	-	-	-	684,999,389		
破産更生債権等	504,188,214	118,821,254	87,559,123	535,450,345	-	-	-	535,450,345		
貸倒引当金	△504,188,214	△118,821,254	△87,559,123	△535,450,345	-	-	-	△535,450,345		
長期前払費用	187,413,288	201,583,325	154,751,291	234,245,322	-	-	-	234,245,322		
災害備蓄在庫	60,709,552	140,336,005	136,262,609	64,782,948	-	-	-	64,782,948		
その他投資資産	46,718,878	977,210	5,105,986	42,590,102	-	-	-	42,590,102		
計	1,039,983,775	537,842,790	551,208,804	1,026,617,761	-	-	-	1,026,617,761		

(注1) 当期増加額は、4,801,258,359円(清水さくら:新病院)、315,206,122円(北海道:無停電電源装置更新工事等)の取得等によるものです。

(注2) 当期増加額は、183,678,179円(清水さくら:駐車場等)の取得等によるものです。

(注3) 当期増加額は、1,366,242,237円(徳山:高精度放射線治療システム等)、916,902,787円(埼玉:放射線治療システム等)、384,436,925円(埼玉:放射線治療システム等)、555,409,193円(九州:サーバ-関連等)、308,856,726円(札幌:ネットワーク 富士通Japan等)によるものです。当期減少額は、388,220,002円(熊本:放射線治療システム等)の取得等によるものです。

(注4) 当期増加額は、723,038,478円(清水さくら:医療情報システム等)、555,409,193円(九州:サーバ-関連等)、308,856,726円(札幌:ネットワーク 富士通Japan等)によるものです。当期減少額は、383,642,383円(九州:電子カルテシステム機器等)の除却等によるものです。

(注5) 当期増加額は、11,160,331,211円(船橋:移転用地)等の取得によるものです。

(注6) 当期増加額は、5,437,342,914円(清水さくら:新病院)、495,660,404円(徳山:新西館棟新築等設備工事)等によるものです。当期減少額は、7,208,968,714円(清水さくら:新病院)、5,647,021,609円(徳山:新西館棟新築等整備工事)等によるものです。

(注7) 当期増加額は、1,522,541,460円(九州:電子カルテ関連等)、460,153,274円(札幌:電子カルテシステム等)の取得等によるものです。

2. 棚卸資産の明細 (単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	引当・振替	引当・振替	その他		
医薬品	2,300,097,656	58,321,666,464	58,089,562,929	7,949,533	2,524,251,658	注	
診療材料	1,302,217,563	37,652,578,516	37,646,247,255	4,320,226	1,304,228,598	注	
給食用材料	92,493,808	4,315,204,142	4,308,298,842	0	99,399,108		
貯蔵品	372,591,994	4,264,715,065	4,223,051,238	11,666	414,244,155		
計	4,067,401,021	104,554,164,187	104,267,160,264	12,281,425	4,342,123,519		

(注) 当期減少額のうち、低価格による評価損によるものです。

3. 有価証券の明細 (単位:円)

種類及び銘柄	取得価額	券面総額	当期減少額		期末残高	摘要
			貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額		
満期保有目的債券	7,000,000,000	7,000,000,000	7,000,000,000	0		
計			7,000,000,000	0		

4. 長期貸付金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
奨学金貸与	745,142,057	194,946,250	20,139,114	234,949,804	684,999,389	注
計	745,142,057	194,946,250	20,139,114	234,949,804	684,999,389	

(注) 当期減少額のうち「償却額」は奨学金貸与規程第12条等による返還免除除額です。

5. 引当金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	10,743,909,762	10,727,187,824	10,743,909,762	0	10,727,187,824	
計	10,743,909,762	10,727,187,824	10,743,909,762	0	10,727,187,824	

6. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細 (単位:円)

区分	貸付金等の残高		貸倒引当金の残高		摘要
	期首残高	当期増減額	期首残高	当期増減額	
医薬未収金	59,630,645,660	2,054,080,194	123,763,243	△ 6,388,615	117,374,628
一般債権	59,630,645,660	2,054,080,194	123,763,243	△ 6,388,615	117,374,628 注1
施設運営事業未収金	2,043,916,025	△ 31,289,346	672,747	△ 348,513	324,234
一般債権	2,043,916,025	△ 31,289,346	672,747	△ 348,513	324,234 注1
破産更生債権等	504,188,214	31,262,131	504,188,214	31,262,131	535,450,345
破産更生債権等	504,188,214	31,262,131	504,188,214	31,262,131	535,450,345 注2
計	62,178,749,899	2,054,052,979	628,624,204	24,525,003	653,149,207

(注) 1. 一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。
2. 破産更生債権等(発生から1年以上経過した医薬未収金及び施設運営事業未収金)については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

7. 退職給付引当金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	53,200,627,794	7,582,003,617	3,936,686,886	56,845,944,525	
退職一時金に係る債務	53,200,627,794	7,582,003,617	3,936,686,886	56,845,944,525	
未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異	7,313,572,574	△ 6,354,034,181	1,677,212,125	△ 717,673,732	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	45,887,055,220	13,936,037,798	2,259,474,761	57,563,618,257	

8. 資産除去債務の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
労働安全衛生法等に基づく債務	18,056,085,652	87,576,588	455,287,856	17,688,374,384	注
特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律等に基づく債務	31,444,090	28,663	1,958,200	29,514,553	注
PCB特別措置法等に基づく債務	370,440	0	0	370,440	注
不動産賃貸借契約等に基づく原状回復義務	66,200,944	591,892	6,349,036	60,443,800	注
計	18,154,101,126	88,197,143	463,595,092	17,778,703,177	

(注) 資産除去債務に対応する除去費用等については、独立行政法人会計基準第91の特定はされておりません。

9. 資本剰余金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
寄附金	8,200,300	15,500,000	0	23,700,300	注1
目的積立金	4,314,556,534	7,056,927,914	0	11,371,484,448	注2
販売用不動産振替評価差額金	223,363,394,008	0	0	223,363,394,008	注3
改組に係る財産的基礎相当額	91,779,351,647	0	0	91,779,351,647	注4
運営財源措置額	36,700,000,000	0	0	36,700,000,000	注5
初年度6月賞与財源措置額	10,500,000,000	0	0	10,500,000,000	注6
計	366,665,502,489	7,072,427,914	0	373,737,930,403	

※ 以下の注書きにおいて、各法令は次のとおり記載しております。
 ①改正前の「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構法」(平成17年法律第71号)・・・旧RFO法
 ②「独立行政法人地域医療機能推進機構の業務運営、財務及び会計並びに人事管理に関する省令」(平成17年厚生労働省令第145号)・・・JCHO財会省令

- (注) 1. 寄附金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・当期増加額は、非償却資産の寄附によるもの
 2. 目的積立金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・当期増加額は、利益剰余金からの振替によるもの
 3. 販売用不動産振替評価差額金・・・JCHO財会省令附則第3条第1項に基づき、平成26年4月1日に販売用不動産より固定資産へ振替えた際の評価差額
 4. 改組に係る財産的基礎相当額・・・JCHO財会省令附則第3条第2項に基づき、旧施設運営委託先より受け入れた財産の額
 5. 運営財源措置額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・旧RFO法第15条による国庫納付金の算定において、必要として認められた新機構における運営財源措置額
 6. 初年度6月賞与財源措置額・・・・・・・・・・旧運営委託先団体から新機構に採用された職員に対し前年度勤務期間(12月から3月の4カ月分)の賞与相当額を臨時費用として支出するために措置された財源額

10. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細 (単位:円)

区分	当季交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	
感染症予防事業費等国庫負担補助金	7,605,000	0	0	0	7,605,000
臨床研修費等補助金	186,992,492	0	0	0	186,992,492
電子処方箋管理サービス導入補助金	3,502,000	0	1,155,000	0	2,347,000
地域における受入環境整備促進事業補助金(ノンバンド安全・安心対策促進事業)	1,359,351	0	1,333,200	0	26,151
授業料等減免費交付金	3,207,000	0	0	0	3,207,000
感染症予防事業費等国庫負担補助金	48,480,000	0	0	0	48,480,000
マイナ保険証利用促進のための利用促進の取組に係る助成金	6,538,440	0	0	0	6,538,440
オンライン資格確認関係補助金	3,156,000	0	0	0	3,156,000
[岐阜県外1県]新型コロナウイルス感染症関係病床確保事業等補助金	2,479,000	0	0	0	2,479,000

(単位:円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[埼玉県]埼玉県新型コロナウイルス感染症対策個人防護具整備事業補助金	86,000	0	0	0	86,000	
[富山県]富山県16市1村3団体]病院群輪番制補助金	185,516,555	0	35,879,000	0	149,637,555	
[東京都他]難病・小児慢性特定疾病医療費助成制度におけるオンライン資格確認のための医療機関システム改善等事業補助金	1,306,000	0	0	0	1,306,000	
[北海道]外1府3県]がん診療連携病院等機能強化事業補助金	15,737,000	0	3,072,000	0	12,665,000	
[福岡県]外1府3県]新興感染症対応力強化事業補助金	8,191,000	0	8,191,000	0	0	
[福岡県]外3県]介護事業所等へのサービス提供体制確保事業費補助金	3,735,000	0	0	0	3,735,000	
[静岡県]外1府3県]へき地医療拠点病院運営費補助金	6,907,000	0	0	0	6,907,000	
[北海道]外6県]1市]医師確保支援事業補助金	14,524,000	0	0	0	14,524,000	
[山口県]外2県]医療施設運営費等補助金	21,008,000	0	19,081,000	0	1,927,000	
[秋田県]病院で働く医療従事者確保支援事業費補助金	225,000	0	0	0	225,000	
[宮城県]外1府14県3市]病院内保育所運営費補助金	40,179,200	0	0	0	40,179,200	
[愛媛県]介護機器整備事業(特別養護老人ホーム等の改修等)支援事業補助金	821,000	0	0	0	821,000	
[北海道]外18県]介護職員処遇改善支援事業補助金	13,947,207	0	0	0	13,947,207	
[宮城県]外4県]医療介護総合確保促進基金事業費補助金	8,453,629	0	585,000	0	7,868,629	
[大阪府]外1市]感染症対応体制強化事業補助金	7,318,269	0	5,729,818	0	1,588,451	
[北海道]1都2府30県]看護補助者処遇改善事業補助金	17,266,000	0	0	0	17,266,000	
[宮城県]外1府10県6市1町2団体]救急医療施設運営費等補助金	300,361,873	0	59,066,900	0	241,294,973	
[福井県]原子力災害対策施設整備費補助金	3,207,600	0	0	0	3,207,600	
[北海道]子育て看護職員等就業定着支援事業補助金	4,158,000	0	0	0	4,158,000	
[北九州市]北九州市認可外保育施設児童健康診断支援事業補助金	61,380	0	0	0	61,380	
[北海道]外4県]周産期救急医療事業費補助金	206,525,000	0	7,238,000	0	199,287,000	
[栃木県]外2府8県]医師等就労環境改善支援補助金	83,792,000	0	17,044,000	0	66,748,000	
[北海道]外4県2市]入院児支援事業補助金	53,743,000	0	15,729,000	0	38,014,000	
[東京都]外5県]入院時食事療養支援事業補助金	9,621,000	0	0	0	9,621,000	
[北海道]外1都2府24県]新人看護職員研修事業費補助金	22,036,000	0	0	0	22,036,000	
[秋田県]専門看護師要請事業補助金	400,000	0	0	0	400,000	
[北海道]外1都2県]電子処方箋の活用普及促進事業費補助金	4,010,000	0	3,350,000	0	660,000	
[福島県]外2県]看護師特定行為研修等支援事業補助金	766,000	0	0	0	766,000	
[埼玉県]外2県]認定看護師育成・特定行為研修促進事業費補助金	1,612,000	0	0	0	1,612,000	
[3市]病児保育事業費補助金	19,748,676	0	0	0	19,748,676	
[福井県]外1府1県]病床機能分化・連携促進基盤整備事業費補助金	265,555,000	0	8,100,000	0	257,455,000	
[北海道]外1都16県8市1町]物産高騰対策緊急支援補助金	212,137,887	0	0	0	212,137,887	
[愛知県]愛知県分岐取扱施設支援事業補助金	27,439,000	0	0	0	27,439,000	
[東京都]外1府1分岐]手当補助金	1,838,000	0	0	0	1,838,000	
[大阪府]大阪府看護師等養成所運営費補助金	18,038,000	0	0	0	18,038,000	
[秋田県]外8県]新興感染症対応力強化事業費補助金	115,611,000	0	88,905,334	0	26,705,666	
[秋田県]補聴器外来設置促進事業補助金	420,000	0	420,000	0	0	
[群馬県]群馬県災害医療対策事業費補助金	19,000	0	0	0	19,000	
[埼玉県]埼玉県DMAT整備事業補助金	116,000	0	0	0	116,000	
[東京都]東京都災害拠点病院運営協力金	500,000	0	0	0	500,000	
[東京都]江東区]公衆衛生協力団体支援金	50,000	0	0	0	50,000	
[東京都]江東区]江東区住宅改修支援事業補助金	8,000	0	0	0	8,000	
[福井県]福井県新専門医制度対策事業補助金	118,000	0	0	0	118,000	
[福井県]災害医療体制整備事業補助金	250,000	0	250,000	0	0	
[勝山市]福祉避難所支援事業補助金	376,668	0	0	0	376,668	

(単位:円)

区分	当期待付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[福井県]重症難病患者在宅療養支援事業(一時入院)補助金	238,000	0	0	0	238,000	
[福井県高浜町]研修医・医学生宿舎等環境整備事業補助金	5,368,015	0	0	0	5,368,015	
[福井県高浜町]地域医療連携体制構築事業補助金	250,932	0	0	0	250,932	
[岐阜県]岐阜県医療機関エネルギーコスト削減推進事業費補助金	3,000,000	0	0	0	3,000,000	
[岐阜県]岐阜県高齢福祉施設エネルギーコスト削減推進事業費補助金	2,000,000	0	0	0	2,000,000	
[静岡県静岡市]公的病院事業補助金	15,000,000	0	0	0	15,000,000	
[静岡県静岡市]清水地域医療人材育成事業費補助金	1,281,000	0	0	0	1,281,000	
[愛知県]防災訓練等参加支援事業補助金	71,000	0	0	0	71,000	
[愛知県]NBC災害・テロ対策設備整備事業補助金	8,000	0	0	0	8,000	
[愛知県]災害拠点病院整備費補助金	11,305,000	0	0	0	11,305,000	
[愛知県]愛知県医療施設浸水対策事業費補助金	35,479,000	0	0	0	35,479,000	
[滋賀県大津市]大津市後方医療機関確保対策補助金	1,251,000	0	0	0	1,251,000	
[滋賀県大津市]大津市訪問診療体制強化事業補助金	480,000	0	0	0	480,000	
[大阪府]大阪府私立専修学校専門課程保証・向上補助金	163,000	0	0	0	163,000	
[兵庫県]感染症指定医療機関施設整備補助事業(病室の感染対策に係る整備)補助金	5,333,000	0	5,333,000	0	0	
[兵庫県]災害支援ナース派遣設備整備事業補助金	96,000	0	0	0	96,000	
[神戸市]災害対応心病院設備等整備補助金	3,800,000	0	0	0	3,800,000	
[神戸市]神戸市民間社会福祉施設整備費等補助金	1,070,000	0	0	0	1,070,000	
[高知県]高知県訪問診療等設備整備事業費補助金	173,000	0	0	0	173,000	
[山口県]保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金(マンモグラフィ)	1,925,000	0	1,925,000	0	0	
[山口県]感染症指定医療機関運営事業費補助金	14,522,000	0	0	0	14,522,000	
[山口県]山口県災害医療対策費補助金	169,000	0	0	0	169,000	
[香川県高松市]高松市使用済み紙おむつ処分費用補助金	12,255	0	0	0	12,255	
[福岡県]福岡県在宅療養児一時受入支援事業費補助金	3,789,000	0	0	0	3,789,000	
[福岡県]福岡県ICT導入支援事業費補助金	2,600,000	0	0	0	2,600,000	
[佐賀県]訪問看護ステーション規模拡大支援事業費補助金	1,359,000	0	628,000	0	731,000	
[佐賀県]佐賀県ICT医療連携推進設備整備費補助金	2,750,000	0	0	0	2,750,000	
[長崎県]長崎県感染症指定医療機関運営費補助金	1,704,000	0	0	0	1,704,000	
[熊本県]熊本県共同利用施設設備整備事業費補助金	86,044,000	0	86,044,000	0	0	
[熊本県]地域在宅医療サポートセンター事業補助金	2,374,000	0	0	0	2,374,000	
[熊本県]LPガス事業者支援金給付補助金	15,000	0	0	0	15,000	
[熊本県]熊本県共同利用施設設備事業補助金	1,198,000	0	0	0	1,198,000	
[熊本県]熊本県医師少教区域認定医師勤務推進事業補助金	102,000	0	0	0	102,000	
[熊本県]防災訓練等参加支援事業費補助金	458,000	0	0	0	458,000	
[大分県佐伯市]佐伯市介護サービス経路費等補助金	1,200	0	0	0	1,200	
[宮崎県]循環器病人材育成事業費補助金	62,200	0	0	0	62,200	
計	2,166,510,829	0	369,059,252	0	1,797,451,577	

11. 役員及び職員給与の明細

(単位:千円・人)

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(5,760)	(2)	—	—
	101,082	6	—	—
職員	(9,884,064)	(4,407)	—	—
	155,532,886	23,660	3,546,189	2,236
合計	(9,889,824)	(4,409)	—	—
	155,633,968	23,666	3,546,189	2,236

- (注) 1. 役員に対する報酬等の支給基準は、独立行政法人地域医療機能推進機構役員報酬規程及び独立行政法人地域医療機能推進機構役員退職手当規程によっております。
 2. 職員に対する給与等の支給基準は、独立行政法人地域医療機能推進機構院長給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構本部職員給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構職員給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構非常勤職員給与規程、独立行政法人地域医療機能推進機構職員退職手当規程によっております。
 3. 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。
 4. 非常勤の役員及び職員は、外数として()で記載しております。
 5. 中期計画においては、法定福利費等を含めて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

12. 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

	診療事業	介護事業	教育研修事業	計	法人共通	合計
I 行政コスト						
損益計算書上の費用合計	394,462,562,066	13,997,334,113	415,592,926	408,875,489,105	9,420,234,367	418,295,723,472
その他行政コスト	-	-	-	-	32,000	32,000
除売却差額相当額	394,462,562,066	13,997,334,113	415,592,926	408,875,489,105	9,420,266,367	418,295,755,472
行政コスト						
II 独立行政法人の業務に関して国民の負担に帰せられるコスト	11,935,785,463	224,138,609	176,391,866	12,336,315,938	5,614,336,718	17,950,652,656
III 事業費用、事業収益及び事業損益						
事業収益						
医業収益	380,351,074,602	-	-	380,351,074,602	-	380,351,074,602
研究収益	413,834,097	-	-	413,834,097	-	413,834,097
介護収益	-	13,266,123,008	-	13,266,123,008	-	13,266,123,008
看護師等養成所収益	-	-	135,694,810	135,694,810	-	135,694,810
研修収益	-	-	4,663,680	4,663,680	-	4,663,680
補助金等収益	3,646,131,186	64,290,571	21,945,992	3,732,367,749	4,910,000	3,737,277,749
寄附金収益	123,515,442	3,166,916	-	126,682,358	47,393,939	174,076,297
財務収益	-	-	-	-	528,356,087	528,356,087
その他	3,131,201,537	501,562,870	98,842,570	3,731,606,977	996,087,203	4,727,694,180
事業費用	387,665,756,864	13,835,143,365	261,147,052	401,762,047,281	1,576,747,229	403,338,794,510
事業費用						
業務費	391,785,532,136	13,996,042,570	415,592,926	406,197,167,632	-	406,197,167,632
一般管理費	-	-	-	-	2,086,039,774	2,086,039,774
財務費用	244,954,565	-	-	244,954,565	4,256,717	249,211,282
その他	705,786,495	-	-	705,786,495	62,730	705,849,225
事業損益(△損失)	392,736,273,196	13,996,042,570	415,592,926	407,147,908,692	2,090,359,221	409,238,267,913
△ 5,070,516,332	△ 160,899,205	△ 154,445,874	△ 5,385,861,411	△ 5,136,111,992	△ 5,899,473,403	
IV 臨時損益等						
臨時利益	126,132,095	1,449,238	-	127,581,333	3,250,534,060	3,378,115,393
臨時損失	1,726,288,870	1,291,543	-	1,727,580,413	7,329,875,146	9,057,455,559
当期純損失	△ 6,670,673,107	△ 160,741,510	△ 154,445,874	△ 6,985,860,491	△ 4,592,953,078	△ 11,578,813,569
△ 6,670,673,107	△ 160,741,510	△ 154,445,874	△ 6,985,860,491	△ 11,578,813,569	△ 11,578,813,569	
V 総資産						
建物	166,317,528,007	7,710,838,332	1,885,576,701	175,913,943,040	1,220,198,051	177,134,141,091
構築物	2,863,848,079	2,373,088	8,140,502	2,874,361,669	48,786,403	2,923,148,072
医療用器械備品	27,224,724,976	25,162,092	-	27,249,887,068	-	27,249,887,068
土地	148,672,086,333	2,244,711,000	2,928,376,208	153,845,173,541	5,144,231,505	158,989,405,046
ソフトウェア	11,729,460,870	115,789,306	82,500	11,845,332,676	247,464,804	12,092,797,480
その他	80,931,246,324	2,239,074,927	9,073,453	83,179,394,704	174,480,327,880	257,659,722,584
437,738,894,589	12,337,948,745	4,831,249,364	454,908,092,698	181,141,008,643	636,049,101,341	

(注) I. セグメントの区分については、独立行政法人地域医療機能推進機構に定められている業務内容に基づき、「診療事業」、「介護事業」及び「教育研修事業」に区分しております。

2. 事業の内容

「診療事業」 : 地域に必要とされる医療を提供するための事業

「介護事業」 : 老人保健施設サービス、短期入所、通所・訪問リハ等を提供するための事業

「教育研修事業」: 質の高い看護師を養成・育成するための事業

3. 事業収益のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な収益であり、その主なものは、土地建物等貸付料収入(250,051,027円)、宿舍貸付料収入(272,548,282円)です。

4. 事業費用のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、管理部門に係る費用(2,086,039,774円)です。

5. 総資産のうち法人共通は、各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは、現金及び預金(157,893,979,927円)、有価証券(7,000,000,000円)、管理部門に係る土地(5,144,231,505円)です。

(6) 当機構と関連公益法人との取引の状況

関連公益法人に対する 債権債務の明細	関連公益法人に対する 債務保証の明細	関連公益法人の 事業収入	うち当機構の発注 等に係る金額 (上段:競争契約等) (下段:随意契約等)	割合
822,616円	-	93,626,796円	-	-

14. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細
該当事項はありません。

決算報告書

決算報告書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

【独立行政法人 地域医療機能推進機構】

(単位：円)

区分	診療事業			介護事業			教育研修事業			法人共通			合計		
	予算額	決算額	差額	予算額	決算額	差額	予算額	決算額	差額	予算額	決算額	差額	予算額	決算額	差額
収入															
業務収入	386,915,261,000	384,688,659,833	△ 2,226,601,167	14,442,791,000	13,860,575,360	△ 582,212,640	243,483,000	160,930,632	△ 82,532,348	1,310,603,000	4,587,160,189	4,587,160,189	402,912,118,000	403,397,429,014	385,211,014
その他収入	6,595,000	47,732,113	41,137,113				240,975,619,000	239,388,436,087	△ 48,412,737,087	240,975,619,000	239,388,436,087	△ 48,412,737,087	240,982,214,000	239,438,088,200	48,453,874,200
計	393,510,256,000	394,720,391,946	△ 2,185,464,054	14,442,791,000	13,860,575,360	△ 582,212,640	243,483,000	160,930,632	△ 82,532,348	242,286,222,000	239,975,616,256	△ 31,680,294,256	643,894,332,000	642,733,417,214	48,539,083,214
支出															
業務経費															
診療業務経費	361,094,795,000	363,688,348,717	2,594,453,717												
介護業務経費				13,339,393,000	12,981,612,693	△ 377,880,307									
教育業務経費				301,455,000	263,546,578	△ 37,908,422									
その他の経費							4,228,159,000	3,995,338,730	△ 232,790,270						
施設整備費	30,914,803,000	42,692,483,746	11,777,680,746	690,012,000	81,670,100	△ 609,041,840	301,455,000	33,690,100	33,690,100	52,598,018,000	5,454,117,914	△ 47,143,900,086	81,208,433,000	48,201,834,920	△ 33,996,600
支払利息										△ 5,547,000					5,547,000
その他支出	206,332,000	477,093,574	270,761,574				258,731,291,000	257,800,000,000	△ 2,128,709,000						
計	392,609,598,000	406,381,302,483	14,371,704,483	14,030,605,000	13,043,082,833	△ 986,522,147	301,455,000	297,238,678	△ 4,216,322	△ 5,547,000	267,309,477,644	△ 45,242,443,356	719,099,311,000	687,598,186,212	△ 31,391,115,788

(注) 損益計算書の計上額と決算額の異動は、以下のとおりであります。
 (1) 損益計算書の臨時利益は、決算期前までは、その収入に含まれております。
 (2) 損益計算書の「一般管理費」、その他経費のうち「事務費用」及び「その他経費」は、決算報告書上では業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監查報告

監 査 報 告

独立行政法人地域医療機能推進機構
理事長 山本 修一 殿

独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第19条第4項及び同法第38条第2項の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構（以下「法人」という。）の第11期事業年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分に関する書類（案）、行政コスト計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

I 監査の方法及びその内容

各監事は、監事監査規程等に基づき、理事長、理事、内部監査部門、業績評価部門、その他職員（以下「役職員等」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、WEB会議を含む役員会その他重要な会議に出席し、役職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部及び各施設において業務、財産の状況及び主務大臣に提出する書類を調査した。また、役員（監事を除く。以下「役員」という。）の職務の執行が通則法、個別法又は他の法令に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制（財務報告プロセスを含む。以下「内部統制システム」という。）について、役職員等からその整備及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

さらに、当該事業年度に係る財務諸表及び決算報告書（以下「財務諸表等」という。）並びに事業報告書（会計に関する部分）について検証するに当たっては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適切な監査を実施しているかを監視及び検討するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。また、会計監査人から会社計算規則第131条で定める「会計監査人の職務の遂行に関する事項」と同様の事項の通知を受け、必要に応じて説明を求めた。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。

II 監査の結果

- 1 法人の業務は、法令等に従い適正に実施され、また、中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施しているものと認める。
- 2 法人の内部統制システムに関する業務方法書の記載内容は相当であると認める。また、内部統制システムに関する理事長の職務の執行について、指摘すべき重大な事項は認められない。
- 3 法人の役員の職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められない。
- 4 財務諸表等に係る会計監査人有限責任あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。
- 5 事業報告書は、法令に従い、法人の状況を正しく示していると認める。

III 独立行政法人改革等に関する基本的な方針等過去の閣議決定において定められた監査事項について違反する事実等は認められない。

令和7年6月27日

独立行政法人地域医療機能推進機構

監 事（非常勤） 牧 健太郎
監 事（非常勤） 徳 田 安崇

会計監査報告

独立監査人の監査報告書

令和7年6月26日

独立行政法人地域医療機能推進機構
理事長 山本 修一 様

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡邊 崇

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金子 靖

<財務諸表監査>

監査意見

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第11期事業年度の財務諸表（損失の処理に関する書類（案）を除く。以下同じ。）、すなわち、貸借対照表、行政コスト計算書、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分を除く。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人地域医療機能推進機構の令和7年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。独立行政法人の監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における会計監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、独立行政法人から独立しており、また、会計監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

その他の記載内容

その他の記載内容は、附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分）及び事業報告書（第11期事業年度の会計に関する部分を除く。）である。独立行政法人の長の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見等の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見等を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における会計監査人の責任

会計監査人の責任は、会計監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正及び誤謬並びに違法行為により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

会計監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は会計監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、会計監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに独立行政法人の長によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- 独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす要因となることに十分留意して計画し、監査を実施する。

会計監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び独立行政法人の監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

＜損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告＞

会計監査人の報告

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第11期事業年度の損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち、会計帳簿の記録に基づく記載部分である。ただし、当監査法人は、第11期事業年度に会計監査人に選任されたので、事業報告書に記載されている事項のうち第10期事業年度以前の会計に関する部分は、前任会計監査人の監査を受けた財務諸表に基づき記載されている。

当監査法人の報告は次のとおりである。

- (1) 損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (2) 事業報告書（第11期事業年度の会計に関する部分に限る。）は、独立行政法人地域医療機能推進機構の財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示しているものと認める。

独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した損失の処理に関する書類（案）を作成すること、財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示す事業報告書を作成すること、並びに独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

会計監査人の責任

会計監査人の責任は、損失の処理に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているか、並びに決算報告書が独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から報告することにある。

＜報酬関連情報＞

当監査法人及び当監査法人と同一のネットワークに属する者に対する、当事業年度の独立行政法人の監査証明業務に基づく報酬の額は事業報告書の7. 持続的に適正なサービスを提供するための源泉（2）役職員等の状況②会計監査人の名称及び報酬に記載されており、非監査業務に基づく報酬はない。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記の監査報告書の原本は当機構が別途保管しております。